

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方 …①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモード

時刻・カレンダーモード

曜日 月 日 ELバックライト ONマーク

①ボタン (モード切替) ②ボタン (12/24時間制表示切替) ③ボタン (ライト点灯) ④ボタン (ライト点灯)

午後マーク (午後不点灯) 午前マーク (午前不点灯)

グラフ表示1 秒 分 時 ④ボタン (ライト点灯)

①ボタン (モード切替) ②ボタン (12/24時間制表示切替) ③ボタン (ライト点灯) ④ボタン (ライト点灯)

★グラフ表示について
いずれも現在時刻の秒に連動してグラフ表示1は5秒ごと、グラフ表示2は1秒ごとに点灯/不点灯をくりかえします。

★12/24時間制表示切り替え
②ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後“P”)と24時間制表示とが切り替わります。

★ELバックライトON/OFF切り替え
③ボタンを1~2秒間押し続けることに、ELバックライトのON(※点灯)/OFFが切り替わります。
※「★ELバックライトの自動発光」参照

■表示照明用ELバックライトについて
どのモードのときでも、④ボタンを1回押すと文字板が約3秒間発光します。

※発光しているときにもう一度④ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。

※なお、ライトOFF(※不点灯)でも④ボタンを押すと発光します。



★ELバックライトの自動発光
ライトON(※点灯)のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。
※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

<ELバックライトの発光に関するご注意>

- ・直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ・電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。
- ・発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- ・発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際のトランスの振動音であり、異常ではありません。

アラームモード

分単位でアラームのセット、および毎正時の時報のセットができます

現在時刻 アラーム・時報 ON/OFF切替

モードマーク

アラーム時刻

デモアラーム

タイマーモード

1/10秒単位で、最大60分までの減算計測ができます。

現在時刻

モードマーク

タイマーセット時間

①ボタン (リセット) ②ボタン (スタート/ストップ)

ストップウォッチモード

1/100秒単位で、23時間59分59秒(24時間)まで計測できます。

モードマーク スタート表示切替

計測値

①ボタン (リセット/スプリット) ②ボタン (スタート/ストップ)

秒の合わせ方 …30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

- 時刻・カレンダーモードのとき、
③ボタンを押します
→ 「秒」が点滅します。
- 時報に合わせて、
②ボタンを押します
→ 「00秒」からスタートします。
秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。
- 秒セット後は、
③ボタンを押します
→ 点滅が止まります。

●秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時おおようう年の2月29日以外は修正不要です。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

- 時刻・カレンダーモードのとき、
③ボタンを押します
→ 「秒」が点滅します。
- セット箇所を選ぶ
④ボタンを押します
④ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下のように移動します。
- 点滅箇所のセット
②または③ボタンを押します
→ ②ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、④ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※②・③ボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。
- セット後、点滅を止めるには
③ボタンを押します

④ボタンでセットしたい箇所を選び、②・④ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

アラームの使い方 …操作のしくみにしたがって①ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。
※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

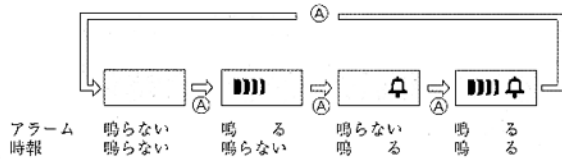
■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、

①ボタンを押します

①ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると「m」が点灯し、自動的にアラームONとなります。(「■アラーム時刻のセット」参照)



■鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、②③④⑤いずれかのボタンを押します。

■アラーム音の試し聞き(デモアラーム)

アラームモードのとき、⑥ボタンを1~2秒間押し続けるとアラーム音が鳴ります。
※ELバックライトON(※点灯)のときは、アラーム音と同時に文字板も発光します。



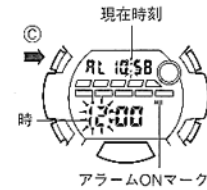
■アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのとき

①ボタンを押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

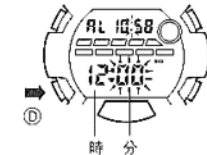
※このとき「m」が点灯し、アラームONとなります。



(2) セット箇所を選ぶ

②ボタンを押します

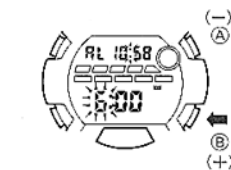
②ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

③または④ボタンを押します

→ ③ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、④ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※③・④ボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。



●「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
●時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セット後、点滅を止めるには、

⑤ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方 …操作のしくみにしたがって①ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1秒単位で60分までセットでき、1/10秒単位で減算計測を行いません。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

■タイマーの使い方

タイマーをスタートするには、

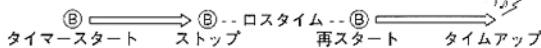
①ボタンを押します

→ 1/10秒単位で減算計測を開始します。

※計測をストップするときは、もう1度①ボタンを押します。
ストップ後②ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは

減算計測中、①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押して再スタートすると、表示タイムに引き続き計測をはじめます。



★リピート計測

タイムアップ後、自動的にセットしたタイマー時間を表示しますので、同じ時間をくりかえし計測するのに便利です。

★鳴っている電子音を止めるには

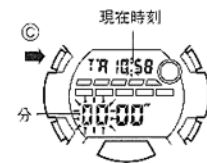
鳴っている電子音を止めるには、②③④⑤いずれかのボタンを押します。

■タイマー時間のセット

(1) タイマーモードのとき

①ボタンを押します

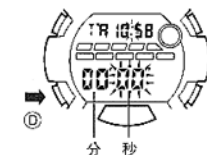
→ タイマー時間の「分」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

②ボタンを押します

②ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「分」と「秒」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

③または④ボタンを押します

→ ③ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、④ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※③・④ボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。



(4) セット後、点滅を止めるには

⑤ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

ストップウォッチの使い方 …操作のしやすさにしたがって②ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

本機は、1/100秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後0に戻って計測し続けます。スタート前5秒前からスタートのタイミングを知らせるオートスタート機能や、計測中に目標タイム達成を知らせる目標タイム報知機能があります。

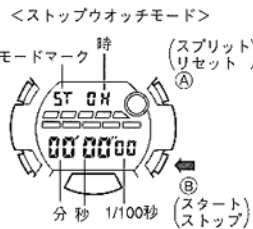
※なお、ELバックライトON(※点灯)のときは、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

計測のしかた

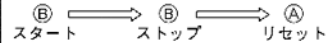
②ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測中に①ボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※②・①ボタンともそれぞれ押しと操作確認音が鳴ります。

※計測値を「0H00'00'00」に戻すには、ストップ後①ボタンを押します。

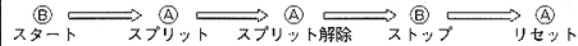


通常の計測

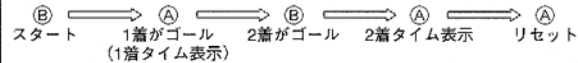


※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



目標タイム報知機能

目標タイムは1秒単位で23時間59分59秒までセットでき、計測中にあらかじめセットした目標タイムになると5秒間報音(ELバックライトON(※点灯)のときは文字板も発光)して知らせます。

目標タイムのセット

<ご注意>

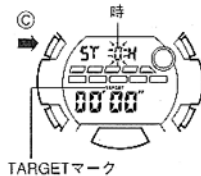
ストップウォッチ計測中は、目標タイムのセットはできません。このときは、ストップウォッチの計測を終了/リセットさせてから目標タイムのセットを行なってください。

(1) セット表示にする

ストップウォッチモードのとき、

③ボタンを押します

→ 目標タイムの「時」が点滅し、セット表示になります。
(TARGETマーク点灯)

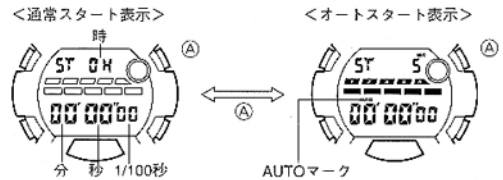


オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音の報音(ELバックライトON(※点灯)のときは文字板も発光)で知らせるものです。この機能により、スタート時のボタン操作を行なうことなく、スタートと同時に計測を開始することができます。

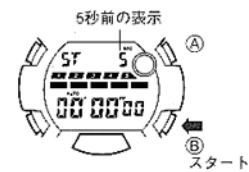
オートスタート表示にする

計測リセット時(0H00'00'00)に①ボタンを押すごとに以下のように通常スタートとオートスタート表示とが切り替わります。オートスタート機能を使用するときは、あらかじめ①ボタンでオートスタート表示(AUTO点灯)にしておきます。



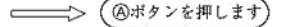
オートスタートで計測を開始する

計測リセット時(0H00'00'00)に①ボタンを押して計測スタートさせると、5秒前からカウントダウンを行なってから計測がスタートします。計測スタート後は、通常計測のボタン操作と同様になります。

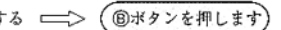


★カウントダウン中に、

・計測を中断し、計測前の表示に戻す



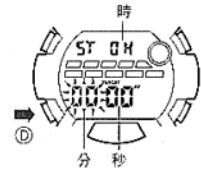
・カウントダウンを中止し、即スタートする



(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時→分→秒」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

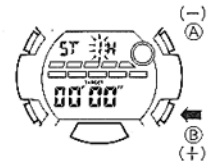


(3) 点滅箇所のセット

⑤または⑥ボタンを押します

→ ⑤ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、⑥ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると早送りします。⑤・⑥ボタンを同時に押しと「0H00'00」となり、目標タイム報知機能はOFFになります。



(4) セット後、点滅を止めるには

③ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。